

高校生対象アクティブラーニングプログラム

Glocal Shift Programme

グローバル・シフト・プログラム

2021年度 最終成果報告会

開催日時／場所

2021年12月18日（土）14:00～18:00（開場13:30）

Zoom（ウェビナー形式）

※お申いただいたメールアドレスに自動返信にてZoom URLを送付します。メールが届かない場合は下記までお問い合わせください。

高校生の『本気(ガチ)』の提案を聴いてください！



参加方法

申込締切：2021年12月17日（金）正午

下記Webフォームよりお申込みください



こんな方にお勧め！

- ・高校等でアクティブラーニングに取り組む教職員
- ・プログラムに興味関心がある高校生
- ・高校生の提案を受け止めたい、実現したい！
- ・一緒に世界を変えたい！という熱い想いを持つ方

※上記以外の方もお申込みください

当日プログラム

第1部

14:00～14:15 開会挨拶、趣旨説明、審査員のご紹介

14:15～16:15 高校生4チームによる報告・質疑応答

第2部

17:00～18:00 表彰式・講評・閉会挨拶（途中入退出可）

詳細はホームページをご覧ください。

後援：京都府教育委員会、京都市教育委員会

お問い合わせ

認定NPO法人グローバル人材開発センター

〒602-8061 京都市上京区甲斐守町97番地 西陣産業創造会館2階
営業時間：平日9:30～17:30（土日祝は休業）

TEL：075-411-5010

Mail：info@glocalcenter.jp

グローバルセンター



Glocal Shift Programmeとは？

～君が世界を変える、君の世界を変える～

本プログラムは、一般社団法人三菱みらい育成財団の助成金事業「心のエンジンを駆動させるプログラム」の採択を受け、2020年度からスタートした高校生対象アクティブラーニングプログラム（課外活動）です！

京都を中心とする地域の様々な高校から集まったメンバーが約半年間、様々な分野で活躍する講師と出会い、フィールドワークやワークショップを通じて、自分の興味関心について視野を広げ、最終成果報告会では「高校生が社会に対して本気で世界を変える提案」をします。

<https://glocalcenter.jp/students/projects/glocal-shift-programme/>
体験版（①12/24、②3/21）開催予定！詳しくはホームページをご覧ください。



テーマ

高校生はチームを組み、4つのテーマについて取り組みました。

貧困と紛争

海洋汚染



LGBTQ+

多様性と差別

審査員紹介

高校生の報告に対して、産、官、学、起業家の視点から
審査とフィードバックをしていただきます

産

丹波 寛志氏
京都信用金庫
専務理事 本部長統括



官

永田 綾氏
京都市 環境政策局
地球温暖化対策室
エネルギー政策部長



学

ウスビ・サコ氏
京都精華大学
学長



龍谷大学 経済学部 卒業後、京都信用金庫へ入社。栗東、草津、北山、円町、伏見での支店長を経て理事就任。滋賀本部長、常務理事総務部担当 兼 人事部長ののち、現職。認定NPO法人グローバル人材開発センター理事等を務める。

2005年環境省入省。産業廃棄物規制対策や大気汚染物質排出規制対策に関する法制度改正、名古屋議定書や水俣条約の締結、環境金融・ESG金融に関する政策・事業、プラスチック資源循環対策などを担当。2021年4月より現職。再生可能エネルギーの普及拡大や脱炭素型ライフスタイルの推進、国際連携などを担当。

1966年生、マリ共和国出身。中国・北京語言大学、南京東南大学を経て来日。京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士課程修了。博士（工学）。2001年より京都精華大学人文学部教員。バンバラ語、英語、フランス語、中国語、関西弁を操るマルチリンガル。『空間人類学』をテーマに、学生とともに京都で各家庭の打ち水の範囲と近隣との友好度の関係を調査したり、マリの共同住居のライフスタイルを探るなど、国や地域によって異なる環境やコミュニティと空間のリアルな関係を研究。暮らしの身近な視点から、多様な価値観を認めあう社会のありかたを提唱している。2018年4月に学長に就任。

学

村田 和代氏
龍谷大学 政策学部
政策学科 教授



起

中須 俊治氏
株式会社AFURIKA DOGS
代表取締役社長



奈良女子大学大学院人間文化研究科博士課程単位修得退学。ニュージーランド国立ヴィクトリア大学大学院言語学科Ph.D.(言語学)。2012年より龍谷大学法学部教授。2017～2020年、龍谷大学全体の国際連携やグローバル化を牽引する龍谷大学グローバル教育推進センター長を務める。グローバルセンター理事。社会言語・コミュニケーション研究者として、多様なひとびとの共生、持続可能な社会構築のために、市民参加型の話し合い、異なる他者との対話を通じた学び、言語・コミュニケーション教育、話し合い能力育成プログラム、コミュニティ・ベースド・ラーニング（大学・地域連携）、職場談話、アイデンティティといったテーマで精力的に研究を進めている。

大学在学中に単身アフリカへ渡航し、ラジオ局のジャーナリストとして番組制作に携わる。大卒後、京都信用金庫に入社。嵐山地域で営業を担当した後、2018年に独立・起業。日本とトーゴ共和国を往復し「みんなが笑って過ごせる世界をつくる」ために、体験型のファッション事業やアフリカ進出をめざす人たちの伴走支援をしている。著書に『Go to Togo 一着の服を旅してつくる』（烽火書房）。

オンライン参加
申込受付中！

